



2月に入ると「税金」についての話題が多くなる。「確定申告」が始まることで、その大きな理由だ。確定申告とはおもに事業者が、前年の収支を税務署に報告(申告)し、納める税を確定させる作業だ。イメージ的には個人事業主や自営業者たちが帳簿をもとに申告書を作成している姿が浮かぶだろうか。ドラマなどで「領収書がない!」などといって慌てる場面などといつて憶てる場面な

●誰にでも関わりのある「税」

## The 情報源

確定申告が16日から始まる。通常、関係ないと思っているサラリーマンの一部には必要な人もいるし、内容も年々変わってきた。今回はサラリーマンの確定申告を中心にして、誰にとっても関係している「税」について考察してみよう。

表① サラリーマンが確定申告する主な場合

- 給与の年間収入が2000万円を超える人
- 給与を2ヵ所以上から受けている人
- 家族全員の医療費が年間20万円を超えた人
- 住宅ローンを組んで自宅を購入した人
- 業務に関連した資格取得で学校に通った人
- 寄付や「ふるさと納税」をした人
- 副収入のある人

源泉徴収制度は1940(昭和15)年に、戦時下の徴税を効率化するために導入されたもの。戦後もこの制度は続き、多くの給与所得者が確定申告の手続きから「解放」された代わりに

源泉徴収制度によって、なんなく彼らの苦勞が伝わっている人も多いようだ。しかし、これは源泉徴収制度によって会社が差額を調整し本人

によってサラリーマンでも指摘も根強い。各種調査でちそれが裏付けられている「税」を身近なものにしていく。

ただし、確定申告は場合

によってサラリーマンでも

「納税意識が薄れる」との

指摘も根強い。各種調査で

もそれが裏付けられている

「税」を身近なものにしていく。

ただしこの「控除され

る」が注意点。「ふるさと納

税をした翌年に確定申告が

してはほぼ全額が戻ってく

る場合もある【表②】。しか

し申告しなければ当然戻

てはならない。「ふるさと納

税がその分軽減され、それ

が「戻ってくる」という言

葉の意味なのだ。年収によ

ってはほぼ全額が戻ってく

る場合もある【表②】。しか

し申告しなければ当然戻

てはならない。「ふるさと納

税がその分軽減され、それ